

## 東京農業大学 多摩川源流大学プロジェクト

### 活動を行う団体

東京農業大学 <http://genryudaigaku.com/>

[https://www.nodai.ac.jp/society/cooperation/activity-3/yamanashi\\_kosuge/](https://www.nodai.ac.jp/society/cooperation/activity-3/yamanashi_kosuge/)

(NPO 法人多摩源流こすげ、いちのせきニューツーリズム協議会 合同会社流域共創研究所 だんどり、株式会社 boonboon 等と連携して実施)

### 活動の概要

多摩川源流大学は、東京農業大学の人材育成プログラムとして2007年に始まった。多摩川の源流域の一つである山梨県小菅村やその他の流域地域全体を学びの場とし、農業や森林作業、文化体験などの体験実習を行っている。

それを通して、農山村地域の暮らしや地域のつながりを理解し、農山村地域を好きになり、将来様々な分野で活躍できる人材を育成することを目的としている。

大学の全学生を対象にしており、1年目受講者を対象とした基礎コースでは、行政、企業、専門家と幅広い講師から話を聞く座学と、実習を行う。2年目の受講者を対象にした応用コースでは、地域が抱える課題をテーマにし、上流域から下流域、生産地から消費地など、地域の持つつながりを体験できる授業としている。



3年目以降の受講者を対象としたエキスパートコースでは、自ら地域の課題を設定し、その課題解決のためのアプローチを考え、実践することを目指す。応用コースとエキスパートコースでは、最終実習で、住民に向けた発表会を行う。

さらに、他大学への展開、一般の方への普及も目指し、一般向け教材や、村の団体や専門家との協働によるプログラム展開にも発展している。

### 優良事例のポイント

この活動では、様々な主体の参画（教育機関、行政、企業、専門家など）を促すことで、様々な視点や気づき、きっかけを得ることができている。また、流域を共通の資源とし、源流域だけではなく下流域の活動への参加、他流域でもプログラムを展開することで地域のつながりや地域間交流を促している。